

北関東防衛局広報

平成30年3月(第95号)

編集・企画発行 北関東防衛局総務部広報室

さいたま市中央区新都心2-1

<http://www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/>



写真提供：陸上自衛隊女性自衛官教育隊

新たな任務に向かって旅立ちの敬礼 陸上自衛隊女性自衛官教育隊

目次

CONTENTS

- 2 特集！陸上自衛隊女性自衛官教育隊 ～埼玉県朝霞市～
- 3 女性自衛官の活躍推進について
- 4 平成29年度 防衛施設建設に係る優秀工事局長感謝状
平成29年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式
- 5 米軍横田基地「米軍輸送機C-130Hの帰投記念式典」
横田基地周辺地域との交流 ～東京都福生市～
- 6 我が街紹介 ～新潟県妙高市～
- 7 お知らせとお願い
駐屯地等の行事、地域のイベントでの広報活動
少額随意契約に「オープンカウンター方式」を導入
事務室（契約課・情報公開室 等）の移転
- 8 航空機へのレーザー照射は重大な犯罪です
在日米軍従業員を募集しています！



特集！陸上自衛隊女性自衛官教育隊～埼玉県朝霞市～

唯一の女性自衛官を専門に教育する部隊

陸上自衛隊朝霞駐屯地に所在する陸上自衛隊女性自衛官教育隊は、陸海空3自衛隊の中で、唯一の女性自衛官を専門に教育する部隊です。

その沿革は、昭和43年3月、朝霞駐屯地に「婦人自衛官学生隊」として発足し、同年12月、「婦人自衛官教育隊」として編成を完了しました。その後、平成15年4月、「婦人自衛官」の呼称が「女性自衛官」に変更されたことに伴い、隊の呼称も「女性自衛官教育隊」へ変更され、平成23年4月に、東部方面隊の陸士・陸曹を教育する東部方面混成団が新編され、その隷下となり現在に至っています。

来年度は、創隊50周年を迎え、隊の卒業者は、発足以来約2万7千名となる予定です。



女性自衛官教育隊の主な任務



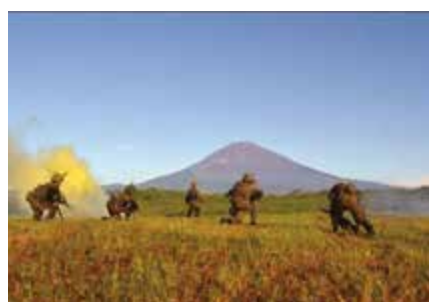
女性自衛官教育隊の組織は、学生教育を担当する2つの共通教育中隊と隊本部（総務科、訓練科、管理科）により編成されます。

主要な任務は、陸士及び陸曹に対し、その職務を遂行するために必要な知識及び技能を修得させるための教育訓練を行うことにあり、新隊員課程教育及び陸曹候補生課程教育を実施しています。新隊員課程教育、陸曹候補生課程教育ともにその内容は男性自衛官とほぼ同じです。

女性自衛官教育隊の活動

女性自衛官教育隊が担任する課程教育では、新隊員課程教育（約3か月）、陸曹候補生課程教育（約3か月・年3回）を実施します。これらの課程を修了した後、各隊員は部隊に配属され、職務を通じて更に技術の習得等に努めます。

なお、今年度は女性の採用数増加に伴い、9月に初めて2回目の新隊員課程教育を実施しました。



地域との交流

朝霞市民祭り「彩夏祭」への参加

毎年 8 月に朝霞市で実施される「彩夏祭」に、職員及び学生の総勢約 150 名で構成する陸自の女性自衛官チーム「朝霞自衛隊連」が参加し、毎回沿道の方たちから大きな声援をいただいています。

「朝霞自衛隊連」は、この祭りに参加している団体の中で最大人数かつ最多回数の出場であり、毎年、朝霞市長から直接激励をいただいています。



自衛隊記念日行事

陸上自衛隊朝霞訓練場で行われる自衛隊記念日観閲式では、入校中の学生及び全国から選ばれた女性自衛官約 100 名が陸上女性自衛官部隊として参加しています。女性自衛官教育隊は、参加する女性自衛官の訓練を実施しています。



女性自衛官の活躍推進について

防衛省・自衛隊は、女性職員の採用・登用のさらなる拡大を一体的に推進するため、女性職員の採用・登用について具体的な目標を定めるなど、意欲と能力のある女性職員の活躍を推進するための様々な取組を行ってきています。平成 29 年 4 月には「女性自衛官活躍推進イニシアティブー時代と環境に適応した魅力ある自衛隊を目指してー」（「イニシアティブ」）を策定し、女性自衛官の活躍を推進するための理念的な方針を明らかにしました。

（1）女性自衛官の活躍推進に取り組む意義と人事管理の方針

女性自衛官の活躍を推進することは、①有用な人材の確保、②多様な視点の活用、③わが国の価値観の反映、といった重要な意義があります。このため、防衛省・自衛隊として、意欲と能力、適性のある女性があらゆる分野にチャレンジする道を拓き、女性自衛官比率の倍増を目指すこととしました。

なお、女性自衛官の採用・登用に際しては、機会均等のさらなる徹底を図るとともに、本人の意欲と能力・適性に基づく適材適所の配置に努めることを、人事管理の方針としています。

（2）女性自衛官の配置制限の解除

自衛隊では、創設当初から女性自衛官を受け入れてきたものの、陸自の普通科中隊や戦車中隊など一部の部隊については配置を制限していましたが、前記「イニシアティブ」により、全自衛隊において配置制限を実質的に撤廃することになりました。

（3）女性職員の採用の拡大

○ 女性自衛官

女性自衛官は、自衛隊発足当時 144 人でしたが、平成 29 年 3 月末現在、約 1.4 万人（全自衛官の約 6.1%）です。

平成 29 年度以降、採用者に占める女性の割合を 10% にすることとしています。

○ 女性事務官、技官、教官など

女性事務官、技官、教官などは、平成 29 年 3 月末現在、約 3,200 人（全事務官等の約 23.4%）です。

平成 28 年度以降、採用者に占める女性の割合を 30% 以上にすることとしています。

※平成 29 年版防衛白書「第 2 節ワークライフバランス・女性隊員の更なる活躍の推進」から抜粋

平成29年度 防衛施設建設に係る優秀工事局長感謝状

株式会社弘電社に贈呈

平成29年11月6日（月）、吉田北関東防衛局長から株式会社弘電社に、当局が発注した米軍横田基地における構内配電線路等の改修工事（横田（26）構内外線工事）の施工実績等に対して、感謝状を贈呈しました。

局長感謝状は、当局所掌事務の遂行について協力又は援助し、その功績が著しいと認められる個人又は団体に贈呈しているものです。

また、建設工事においては、表彰された会社に対し、今後3年間にわたり、総合評価落札方式の評価において加点されます。



平成29年度 在日米軍従業員永年勤続者表彰式

永年勤続者表彰228名を称えて

平成29年10月11日（水）、東京都羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」において、平成29年度在日米軍従業員永年勤続者表彰式が行われました。この式典は、横田基地、赤坂プレス・センター等北関東防衛局管内の在日米軍施設に10年、20年、30年の永きにわたり勤務された従業員228名の方々の功労を称え、表彰するものです。

表彰式では、主催者である吉田北関東防衛局長、第5空軍参謀長のジーン・K・アイゼンハット大佐及び陸海軍等代表者の祝辞の後、吉田局長、各軍代表者から被表彰者代表に対し、表彰状及び記念品の授与が行われました。



最後に被表彰者を代表して、第374施設中隊所属の益田恵子さんが「この意義ある集いを心の糧として、長年にわたって培った知識や経験を生かし、これからも在日米軍施設の円滑な運営のため、従来にも増して職務の遂行に励み、日米両国の架け橋としての役割を果たしてまいります。」と答辞を述べ、厳粛のうちに、式典は終了しました。

米軍横田基地

米軍輸送機C-130Hの帰投記念式典

米軍横田基地に配備されている第374空輸航空団所属の輸送機については、平成29年3月以降C-130Hから最新型であるC-130Jへの入替えが進められていますが、同年10月16日、残されていたC-130H2機が米本国に帰投することに伴い、横田基地において、日米の関係者による記念式典が開催されました。

C-130Hは43年前に製造され、横田基地には平成元年より28年間配備され、平成23年の東日本大震災を受けた人道支援・災害救援活動である「トモダチ作戦」や平成25年にフィリピン中部で発生した台風被害に対する救援作戦「ダマヤン」など、様々な任務に携わってきました。

第374空輸航空団司令官のケネス・E・モス大佐は、「C-130Hは横田基地で28年間にわたり素晴らしい功績を残しました。Hモデルの本国への帰投に涙が溢れますが、一方で、今後も継続していく素晴らしい日米関係を固める喜びの涙とも言えるでしょう。」とその功績を讃えました。

一方で、C-130Jは高い性能と静粛性を備えており、この入替えによって、基地周辺地域への騒音が低減されると見込まれます。C-130Jは、順次横田基地に到着しており、本年4月までには入替えが完了する予定です。



挨拶をするモス大佐



C-130Hに対して敬礼を行う米軍人



横田基地を離陸するC-130H

横田基地周辺地域との交流 ～東京都福生市～

横田基地有志によるボランティア活動

横田基地に所属する軍人、軍属等の有志と地域住民の方々による清掃活動などが平成25年から行われています。この活動は、横田基地の有志が、基地周辺の地域に貢献したいとの思いから始めたものです。

最近の活動では、公園での清掃活動、秋の花いっぱい運動（植栽）を地域住民の方々と取り組んでいます。

このほか、横田基地に所属する軍人、軍属等の有志による横田基地周辺フェンスの清掃活動も行われています。



右：アースディ基地周辺フェンス清掃活動
横田基地ホームページより

我が街紹介

～新潟県妙高市～

人と自然にやさしい ふれあい交流都市

妙高市は、新潟県の南西部、長野県との県境に位置しています。“越後富士”と呼び親しまれている日本百名山の秀峰妙高山をはじめ、火打山、斑尾山などの裾野は広大な妙高山麓の高原丘陵地帯を形成しています。その一帯は『妙高戸隠連山国立公園』に属し、雄大な自然の景観と四季折々の変化に富んでいるほか、湧出量豊富な7つの温泉が訪れる方々に癒しを与えてくれます。



秀峰妙高山といもり池

また、平成29年12月にオープンしたばかりの「ロッテアライリゾート」等、市内には9つのスキー場が集積しており、近年は、「ビッグスノーエリア」「ディープスノー」「パウダースノー」を求め、豪州、欧州などからの外国人観光客が増えています。



ナイタースキーも楽しめる
妙高市のスキー場

本年2月、妙高市において国民体育大会冬季大会のスキー競技会が開催され、その折には、地元の陸上自衛隊の皆様からも多大なご支援・ご協力を頂いたところです。

「人と自然にやさしい ふれあい交流都市」を将来像として掲げ妙高市は、美しい自然と人が共生し、市民一人ひとりが互いに支えあい、多くの人が訪れる個性と魅力にあふれるまちづくりを推進していきます。



スペシャルジャンプなど
4種のスキー競技が行われました。

健康保養地「妙高」の推進

妙高市特有の気候や豊富な温泉、国立公園などの自然、環境等の地域資源が潜在的に持つ医学的価値を有効活用し、妙高の魅力を満喫してもらい、自身も健康になってもらうことを目的とし「妙高型健康保養地プログラム」を推進しています。

健康保養地の拠点となる「妙高高原体育館（ほっとアリーナ妙高高原）」には、温泉療法専用のプールが備わっており、通年で水中運動プログラムの実施が可能です。



妙高高原体育館（ほっとアリーナ妙高高原）
※平成29年4月オープン

防衛施設周辺対策事業

当市と隣接する上越市にまたがり、陸上自衛隊関山演習場があり、地域との調和を図るため、防衛施設周辺対策事業により施設や道路整備を実施しています。近年では、民生安定事業により、市の中心部にスポーツ振興の拠点兼災害時の避難所となる総合体育館「はね馬アリーナ」を整備し、アリーナのほかに、各種器具を揃えたトレーニングルームやランニングコース、会議室などが完備されており、多くの方々からご利用いただいています。



妙高市総合体育館「はね馬アリーナ」
※平成25年7月オープン

文・写真とも妙高市に寄稿していただきました。

お知らせとお願い

駐屯地等の行事、地域のイベントでの広報活動

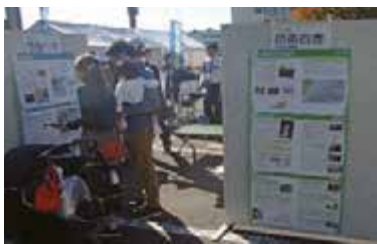


北関東防衛局ブースの様子

北関東防衛局では、防衛省・自衛隊の各種政策や活動等について地域住民の方々や広く国民の皆様のご理解を深めていただく一助として、駐屯地・基地等の行事や地域のイベントなどにおいて、部隊や自衛隊地方協力本部と連携した広報活動を行っています。現地で当局の職員が、来場されている皆さんに、防衛省・自衛隊の各種政策や活動などを紹介している冊子や防衛白書パンフレット版など各種資料を配布し、防衛白書パネル等の展示を行っています。また、防衛省・自衛隊について楽しみながら知っていただくため、防衛白書クイズやグッズの配布を行っており、好評をいただいています。



来場者への資料説明・配布



防衛白書パネル展示

今後も、一人でも多くの方に防衛省・自衛隊の活動等に興味を持っていただけるよう、様々な場所で広報活動を実施していきますので、北関東防衛局のブースを見かけた際は、お気軽にお立ち寄り下さい。



クイズに挑戦している来場者

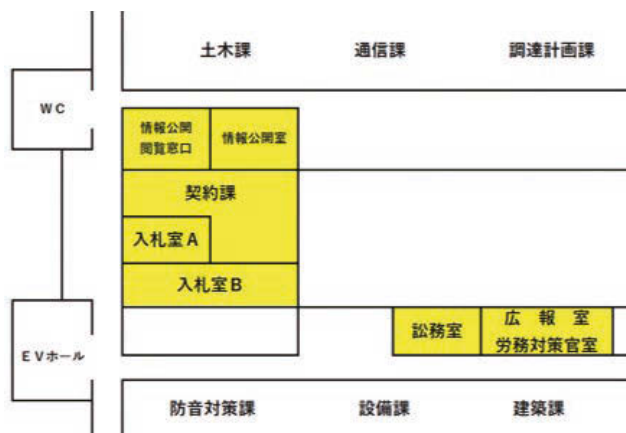
少額随意契約に「オープンカウンター方式」を導入

北関東防衛局では、少額随意契約の契約手続における公平性・透明性の向上及び事業者の見積もり参加機会拡大を図るため、「北関東防衛局オープンカウンター方式実施要領」（平成29年9月5日）を制定しました。オープンカウンター方式とは、物品調達等に係る見積合わせにおいて、当局が見積りの相手方を特定せず、調達案件を公開し、見積もり参加を希望する事業者からの見積書提出を受け、契約の相手方を決定する方式です。

オープンカウンター方式の導入により、これまで2件の物品の購入及び1件の印刷役務を行っており、今後も同方式による調達を実施する予定です。

なお、調達案件は、北関東防衛局ホームページ、さいたま新都心合同庁舎内掲示板で公表しています。

事務室（契約課・情報公開室 等）の移転



北関東防衛局では、平成29年11月までに7階東側事務室を移転しました。

移転先の事務室は次のとおりです。

なお、電話番号、FAX番号の変更はありません。

- 8階東側
情報公開室・情報公開閲覧窓口
- 8階北側
契約課、入札室A・B
- 8階西側
広報室・労務対策官室、訟務室

お知らせとお願い

航空機へのレーザー照射は重大な犯罪です

【北関東防衛局からのお願い】

自衛隊機・米軍機等に対するレーザー照射による妨害行為を行っている人を見かけた方は、**110番通報**をお願いいたします。

- 自衛隊機・米軍機等に対するレーザー照射による妨害事案が多発しています。
- このような行為は、墜落等による大惨事を招きかねない大変危険で悪質な行為です。刑法の威力業務妨害罪に該当する場合は**3年以下の懲役又は50万円以下の罰金**。航空危険行為処罰法の航空危険罪に該当する場合は、**3年以上の有期懲役**。

【平成27年12月及び平成28年11月に威力業務妨害罪で逮捕実績あり】

お問い合わせ先
北関東防衛局企画部地方調整課
電話 **048-600-1800** (内線2234)



【北関東防衛局 HP にバナーを掲載】

在日米軍従業員を募集しています！

独立行政法人 駐留軍等労働者労務管理機構（エルモ）ホームページでは、横田基地などの米軍基地従業員の求人情報を掲載しております。ご興味のある方は、エルモホームページをご覧ください



在日米軍従業員募集案内パンフレットをエルモ横田支部で配布しています。
エルモホームページからも閲覧できます。

ホームページアドレス
<https://www.lmo.go.jp/recruitment/index3.html>



★「北関東防衛局広報」のバックナンバーは、北関東防衛局のホームページでご覧になれます。

www.mod.go.jp/rdb/n-kanto/kouhou/kouhou.html

北関東防衛局広報

検索